

# 令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（特養）

施設名 京都市東九条特別養護老人ホーム

## 1 施設の管理運営

【開所日】年中無休  
【開所時間】24時間  
【利用定員】50名  
【職員研修】新人研修・部署内研修・法人内研修の実施  
【法令遵守】  
・定期的な業務マニュアルの見直し  
・自主点検の実施

## 2 事業実施内容

(1) 指定管理業務（本来業務：特別養護老人ホーム）  
・要介護高齢者のための生活施設。入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活の支援、機能訓練、健康管理を行う。  
・重度認知症の方、医療処置が必要な方など重度障害のある高齢者へのケアを実施。希望により看取り介護を実施。  
・内科医師の週2回回診、精神科医師月2回回診、皮膚科医師月1回訪問、歯科医師の週1回の訪問、その他必要に応じた診療により、疾病の早期発見、早期対応の実施。  
・鍼灸マッサージ師による機能訓練を実施。

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）  
・シルバーハウジング相談員派遣事業

自主事業の実施状況は、以下の通り。

## 3 サービス提供状況

(令和5年度末時点)  
管理者1名、生活相談員1名、介護職員21名（施設ケアマネ兼務2名）、看護師3名、管理栄養士1名、機能訓練指導員1名、事務員3名、調理員（業者委託）

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）  
・厨房業務  
・リネン類のクリーニングとリース業務  
・施設敷地内の害虫駆除

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

・全て市内中小企業に発注した。  
・特殊設備等の保守管理以外は市内中小企業を活用した。  
・市内中小企業に優先して発注するよう努めた。

## 5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)年間 延べ利用者数

①令和5年度実績値 17,880 人

②令和6年度目標値 18,000 人

(2)年間 実利用者数

①令和5年度実績値 599 人

②令和6年度目標値 600 人

(3) 収支実績

ア 本来業務（特別養護老人ホーム） 令和5年度収入状況及び支出の状況 （単位：円）

介護保険収入	186,154,758
利用料収入	40,755,036
委託料収入	0
補助金収入	6,055,072
寄付金収入	163,832
雑収入	568,052
その他	1,085,247
収入計	234,781,997

人件費	124,599,891
事業費	42,328,576
委託費	33,112,396
小額修繕費	1,398,516
その他	18,645,455
支出計	220,084,834

イ 企画提案業務1（シルバーハウジング相談員派遣事業） 令和5年度収入状況及び支出の状況 （単位：円）

介護保険収入	0
利用料収入	0
委託料収入	0
補助金収入	0
雑収入	0
その他	2,646,506
収入計	2,646,506

人件費	2,889,435
事業費	28,602
委託費	0
その他	17,906
支出計	2,935,943

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

アンケート調査にて、ご利用者・ご家族の満足度、要望・改善点などを聞き取っている。

### (2) 利用者満足度把握の結果

感染症対策として、面会の時間や人数、場所に制限があることに対し不満の声が多い。一方、オンライン面会も実施することで遠方の家族や身体的負担のある家族も面会が出来ると喜ばれている。

### (3) 意見等への主な対応状況

感染症対策については、情勢を注視しながら制限緩和の内容・タイミングを協議している。アンケートを集計し、意見への対応を施設内で協議。施設としての回答を付してご家族へ送付し、施設内にも掲示。

## 7 その他特記事項

### (1)

### (2)

## 8 評価（指定管理者自己評価）

- ・重障老人健康管理事業対象者も多数入所されており、障害の有無、程度に関わらず入所の受入を行っている。
- ・重度認知症の方、医療処置が必要な方など重度障害のある高齢者へのケアが増えており、同時に入院期間の増大による空床対策を迫られている。医療機関との連携を密にするために協力病院を2病院としている。
- ・口腔ケアの取り組みを実施している。経口摂取と、誤嚥性肺炎等の疾病予防を推進することができた。
- ・キャリアパス策定を通して、職員のキャリアアップ、モチベーションアップなどの取り組みを充実し、職員定着を図っている。
- ・特養の入院期間の減少、新規ショートステイの利用者の獲得を図り、減収見込みを最小限にするべく収支改善のための方策を検討、実践しつつ収支改善に努めている。
- ・オンラインを活用した外部イベントへの参加や、日常的にフロアで手作業レクリエーションに取り組める仕掛けを施す等、余暇時間の充実を図った。

# 令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（短期）

施設名 東九条のぞみショートステイ

## 1 施設の管理運営

【開所日】年中無休  
【開所時間】24時間  
【利用定員】6名  
【職員研修】新人研修・部署内研修・法人内研修の実施  
【法令遵守】  
・定期的な業務マニュアルの見直し  
・自主点検の実施

## 2 事業実施内容

(1) 指定管理業務（本来業務：特別養護老人ホーム）  
・在宅の要支援・要介護高齢者のための生活施設。入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活の支援、機能訓練、健康管理を行う。  
・希望に応じて利用日数の調整を図り、在宅生活維持への手助けをする。  
・利用者の状態観察に努め、必要に応じて家族・主治医・担当ケアマネジャーとの連携を図り、受診等の対応をする。  
・春の花見ドライブ、夏祭り、秋の紅葉見学、冬の餅つき大会、初詣など季節行事を実施。

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。）

自主事業の実施状況は、以下の通り。  
なし

## 3 サービス提供状況

(令和5年度末時点)  
管理者1名、生活相談員1名、介護職員21名（施設ケアマネ兼務2名）、看護師3名、管理栄養士1名、機能訓練指導員1名、事務員3名、調理員（業者委託）

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）  
・厨房業務  
・リネン類のクリーニングとリース業務  
・施設敷地内の害虫駆除

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

・全て市内中小企業に発注した。  
・特殊設備等の保守管理以外は市内中小企業を活用した。  
・市内中小企業に優先して発注するよう努めた。

## 5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)年間 延べ利用者数

①令和5年度実績値  人

②令和6年度目標値  人

(2)年間 実利用者数

①令和5年度実績値  人

②令和6年度目標値  人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人短期入所施設）

介護保険収入	22,395,883
利用料収入	4,616,693
委託料収入	0
補助金収入	659,889
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	7
収入計	27,672,472

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	16,955,070
事業費	1,772,696
委託費	2,148,796
小額修繕費	174,625
その他	1,347,508
支出計	22,398,695

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

アンケート調査にて、ご利用者・ご家族の満足度、要望・改善点などを聞き取っている。

### (2) 利用者満足度把握の結果

ショートステイの利用によりニーズが満たされるのみならず、利用者の気分転換や、家族の休息に繋がったという声が多い。  
感染症対策の一環で家族が施設内見学が出来ないことについて、「どんなところが気になる」との意見がある。

### (3) 意見等への主な対応状況

アンケートを集計し、意見への対応を施設内で協議。施設としての回答を付してご家族へ送付し、施設内にも掲示。

## 7 その他特記事項

### (1)

### (2)

## 8 評価（指定管理者自己評価）

- ・ 重障老人健康管理事業対象者も多数入所されており、障害の有無、程度に関わらず入所の受入を行っている。
- ・ 重度認知症の方、医療処置が必要な方など重度障害のある高齢者へのケアが増えており、同時に入院期間の増大による空床対策を迫られている。医療機関との連携を密にするために協力病院を2病院としている。
- ・ 口腔ケアの取り組みを実施している。経口摂取と、誤嚥性肺炎等の疾病予防を推進することができた。
- ・ キャリアパス策定を通して、職員のキャリアアップ、モチベーションアップなどの取り込みを充実し、職員定着を図っている。
- ・ 特養の入院期間の減少、新規ショートステイの利用者の獲得を図り、減収見込みを最小限にすべく収支改善のための方策を検討、実践しつつ収支改善に努めている。
- ・ オンラインを活用した外部イベントへの参加や、日常的にフロアで手作業レクリエーションに取り組める仕掛けを施す等、余暇時間の充実を図った。